

＜開会のあいさつ＞

今日は記念すべき日です。それは、長い間途切れていたユース・リーダーが再び結集することができたからです。10 数年前、山口県子連にはジュニア・リーダーズ・クラブ、シニア・リーダーズ・クラブがありましたが、トラブルの発生により、休止状態となっていました。コロナ禍の前からジュニア・リーダーの活動が各市で復活し始め、現在では 160 名を超えるジュニア・リーダーを擁しています。

今回の研修会はジュニア・リーダーとユース・リーダー合同の研修会となっています。この4月から新たにユース・リーダーの県子連への登録をお願いし、現在 20 名を超えるユース・リーダーが登録されています。

令和9年度には中国・四国地区ジュニア・リーダー研修会を本県で引き受けることになります。そこに向けて、どのような研修をしていけばいいのか。ジュニア・リーダーやユース・リーダーが山口県子ども会推進研究委員とともに考えてほしいと思います。

例えば、今回の研修会の持ち物は「研修に必要なもの」とだけ書いています。不要な物をすべて書き出すブラックリスト方式ではなく、ホワイトリスト方式にしたのは、みなさんに考えてもらうためです。研修に必要な物は何か。人に言われたから持って行く・行かないではなく、自分で考えてほしい。県子連として統一した基準やルールがあるわけではありません。ルールはみんなで考えて作っていくものであり、全員が共通理解することが大切です。

みなさんには「地域の絆をつくる子ども会」となるため、学校や地域で通用する地域リーダーになってほしい。そのためには、自ら考え、判断し、行動する力が必要です。今日一日の研修を通して、リーダーとは何なのかを考えてみてください。

